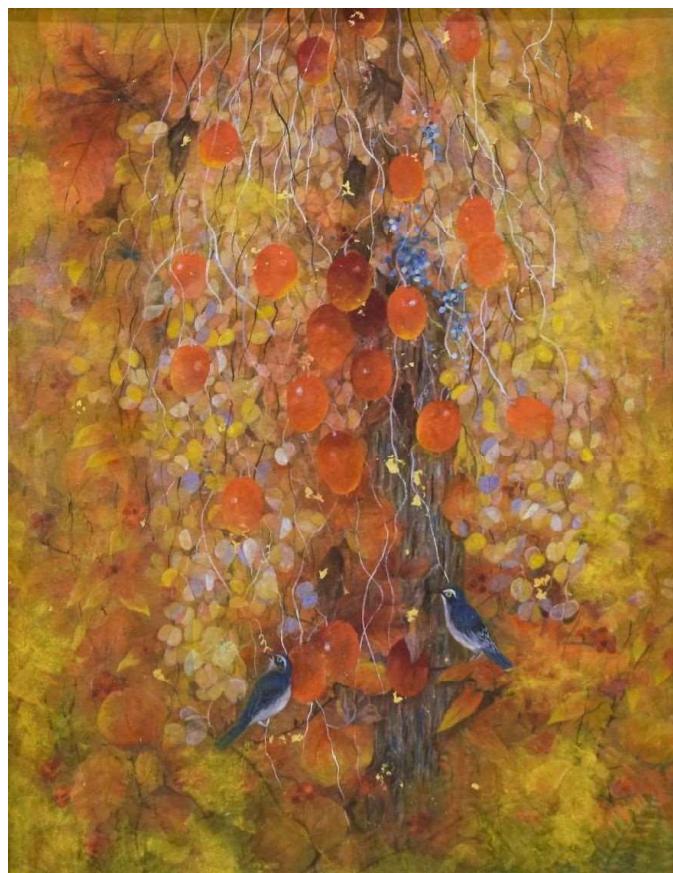
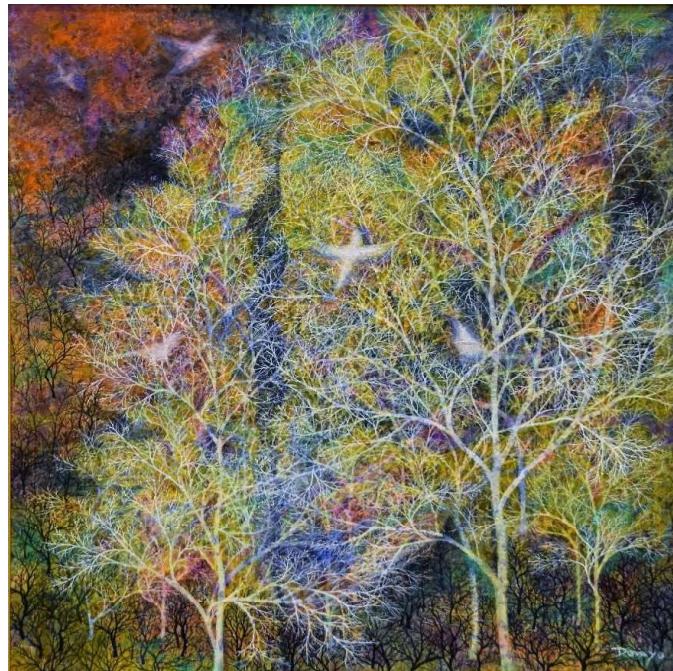


【 絵 画 】



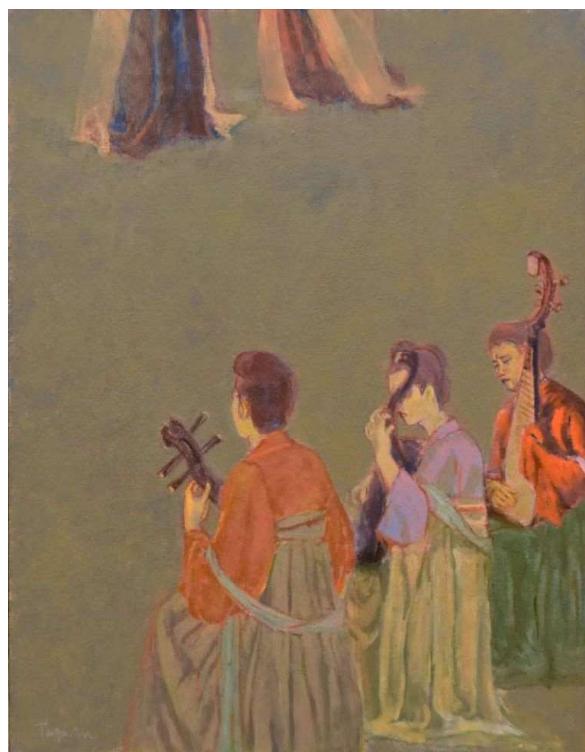
一席

里山秋彩
達原啓二郎



二席

森のシンフォニー
道明陽一



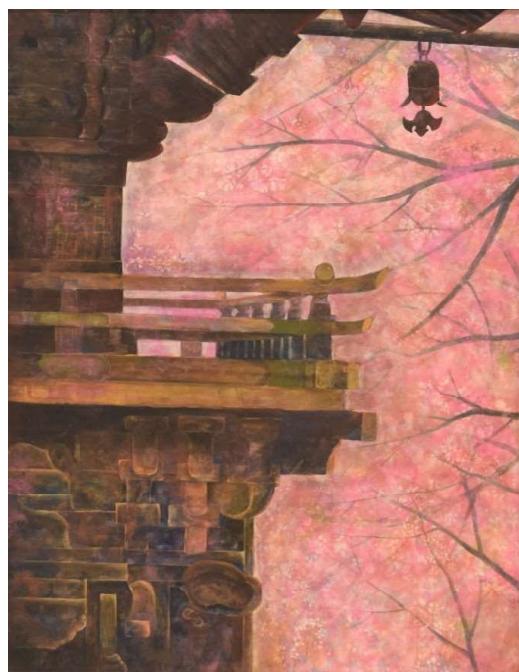
三席

古代奏
多賀恵巳



松本紙店 ギャラリー
MOS 賞

あげは蝶ロマンと
空海の華
神廣美佐紀



岡田文化財団賞
春麗に建つ
野呂正廣

[賞]	[題]	名	[名前]	[住所]
入選	ほっさか山		ワイリーロス	松阪市久米町
入選	よるをくむ		北田悠季	津市久居野村町
入選	霄を凌ぐ		西川千晶	松阪市久保町
入選	夏 盛り		松本郁代	松阪市飯南町深野
招待	今、だった		中西 徹	松阪市川井町
招待	クロニクル		小林克巳	多気町河田
招待	素描「天日子像」		岡田久春	松阪市川井町
招待	無題		森嶽昌行	松阪市西町
招待	鎧(表象の類似性)		土嶋敏男	松阪市内五曲町
招待	青の範囲'21		森 幸彦	松阪市大津町
招待	華 筏		北島 修	松阪市松崎浦町

[賞]	[題]	[名]	[名 前]	[住 所]
審査委員	記憶の中の風景	山本静香	松阪市久保町	
審査委員	長崎港	藤田哲也	桑名市星見ヶ丘	
審査委員	瞬刻	津田親重	名張市つつじが丘北	
審査委員	記憶の断片	百合智子	大台町上三瀬	
審査委員	常念岳	足立 徹	松阪市川井町	
審査委員	Portrait-Chiho	小林 央	津市長岡町	

(順 不 同)

● 審 査 評

開催が危ぶまれた第62回松阪市美術展覧会でしたが、関係者の皆様、何より力作を制作された出品者の皆様のお陰で絵画部門は、今回も充実した展示となっております。

一席は、冬を前に美しく深まっていく自然の彩りを丁寧に描き上げています。

二席は、卓越した技術で色彩と構成で幻想的な情景を表現されています。

三席は、渋い色味と余白を駆使し、品のある作となっています。作者の挑戦が感じられる良作でした。

企業賞では、気の遠くなるような作画の果てに新しい絵画を観ることが出来ました。

岡田文化財団賞は、大胆に建物を切りとり、そこに春色が反射し見事な空気感を産み出しています。幾多の 苦難を乗り越え芸術は、これまで継続してきました。芸術が人の感性に及ぼす効能に期待しながら、皆様の次回作をお待ち致します。

【彫刻・工芸】



一席

くら！ おすわり

濱口弘之



二席

私の尊敬する大谷嘉兵衛翁

中西久雄



三席

氣配
三藤 徹



松阪の一夜賞

灰釉線紋四方鉢
西尾 昇



岡田文化財団賞

練込花文鉢

正木伊都子



まつさか未来賞

Blue

西村仁志

[賞]	[題名]	[名前]	[住所]
入選	紋・紋	西島哲也	松阪市嬉野黒田町
入選	イロトリドリ	山下真奈美	松阪市石津町
招待	心の中の変わらない風景	堀口昌宏	松阪市日野町
招待	線刻百人一首大壺	服部日出夫	多気町色太
招待	兎陶板	立松隆司	松阪市飯高町宮前
審査委員	のこされた か・た・ち	高橋光彦	松阪市深長町
審査委員	Panda S	横田千明	鈴鹿市東磯山3丁目
審査委員	藍のささやき	森谷尚子	松阪市下村町
審査委員	杢拭き漆盤「えん結び」	前田祐英	松阪市久保町
審査委員	竜祖	松本 尚	津市河芸町

(順不同)

● 審査評

彫刻作品は、木彫が多くどれも丁寧に熱心に取り組まれたものでした。受賞の作品は、動物や人物がよく作り込まれています。

工芸作品は、陶芸が中心ですが、技量が高く見応えのある作品となっています。陶芸以外の作品も増えて、中味のある展示になっています。

全般的に見て制作への情熱や技量の向上を感じました。来年の作品を楽しみにしたいところです。